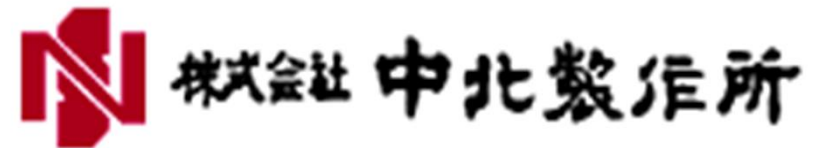




# 平成28年5月期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成28年8月2日 大阪



- I . 会社概要
- II . 平成28年5月期 実績
- III . 平成29年5月期 見通し
- IV . 今後の展望
- V . コーポレートデータ



# I . 会社概要



# 1.会社概要・沿革

## ■会社概要

会社名：株式会社中北製作所  
代表者：代表取締役社長 中北 健一  
所在地：大阪府大東市  
設立：1937年5月  
資本金：1,150百万円  
事業内容：自動調節弁・バタフライ弁・  
遠隔操作装置製造・販売  
従業員数：339名(2016年5月末現在)



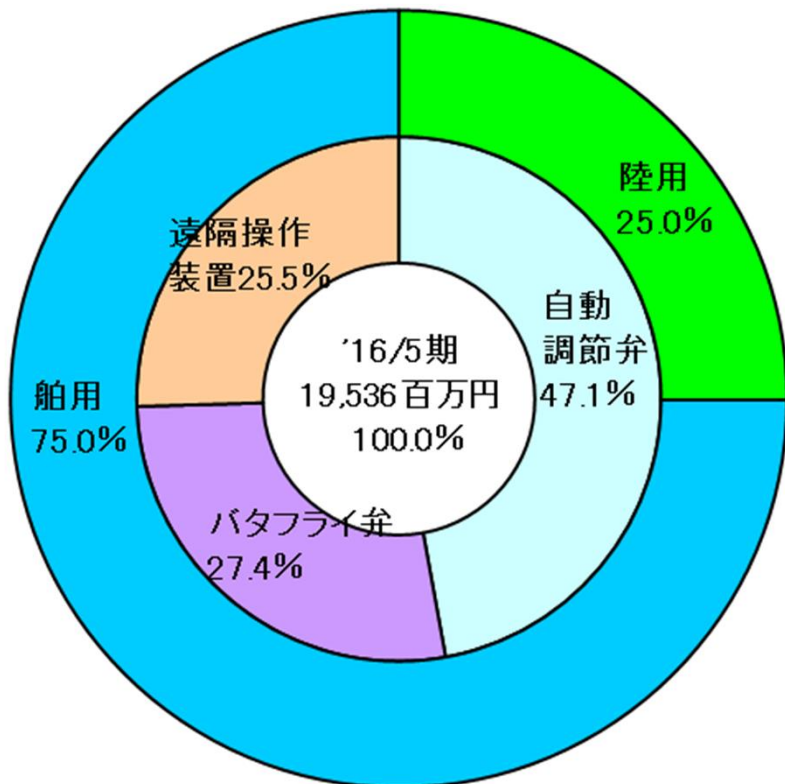
## ■沿革

1930年 5月 初代社長 中北辨造が大阪市北区松ヶ枝町において自動調節弁の製造開始。  
1937年 5月 大阪市北区今井町に移転し、株式会社中北製作所設立。  
1939年 6月 大阪市城東区蒲生町に移転。  
1960年11月 工場拡張のため大東市に工場建設(第1期工事)  
1970年 5月 大東新工場完成、生産組織を新工場に集約する。  
1971年12月 株式を大阪証券取引所市場第二部に上場する。  
1972年12月 業務一体化のため本社組織を大東市へ移転する。  
1994年 9月 ISO9001(国際品質保証規格)の認証を取得する。  
2013年 7月 東京証券取引所と大阪証券取引所との現物市場の統合に伴い、東京証券取引所市場第二部に株式を上場。

## 2. 事業内容

当社は船舶や火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している

- ・製品クオリティも「高圧ガス」「ASME」「CEマーク」「船級認定」など、数々の公的認定で保証されており、高い品質が保たれている。
- ・製造工程においても、品質マネジメントシステムである国際規格のISO9001認証を取得し、設計から製造に至るまでの、トータルで高度な品質管理を実現している。



品種別用途

陸船別	用途		品 種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶	カーゴライン	タンカー		○	○
	バラストライン	全船種		○	○
	機関室	全船種	○		
陸用	発電プラント	火力発電	○	○	
		原子力発電	○	○	
		ガスタービン発電	○	○	
	その他	ケミカルプラント等	○	○	

# 3. 製品

## 船用製品(自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)



中小型船舶から原油運搬用の大型タンカー、さらに環境にやさしい天然ガスを運搬するLNG船まで、船舶輸送を支えているのは中北ブランドです。

【船舶を支える中北ブランド】  
Ships Supported by NAKAKITA Brand

中北製作所の製品は船舶用にも多く使用されており、バラ積み船、タンカー、LNG船などの幅広い分野の船舶においてカーゴ及びバラストラインのバタフライ弁をコントロールパネルから遠隔操作し、船体姿勢制御や荷役制御のサポートをしています。また、船舶用エンジンに関わる燃料油加熱装置や主機清水冷却装置、主機潤滑油冷却装置などで、燃料油の温度を一定に制御することやエンジンの冷却水制御、エンジンに冷却した潤滑油を送り込むといった大切な役割も担っています。

### カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム



### バタフライ弁



### 液面指示装置



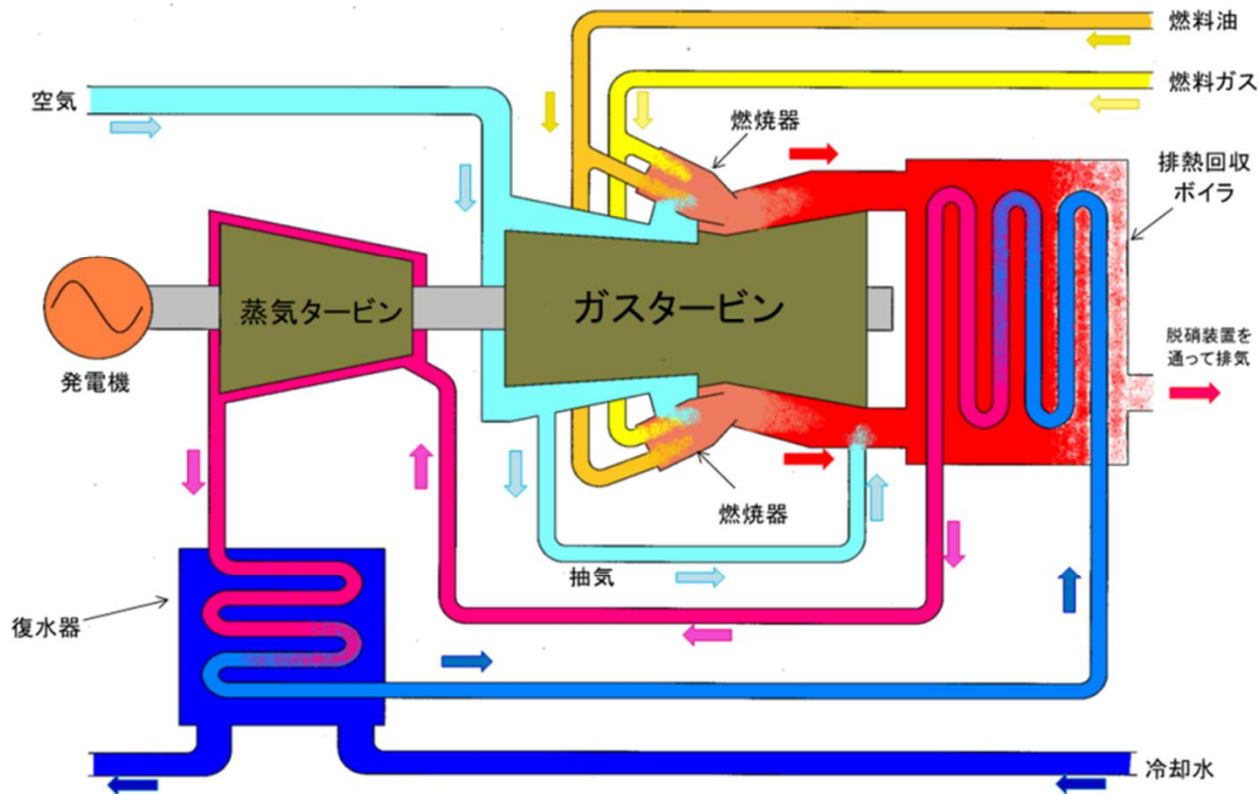
### LNG船



### 自動制御機器 (機関室・ポンプルーム)



# ガスタービンコンバインドサイクル火力発電所用制御弁



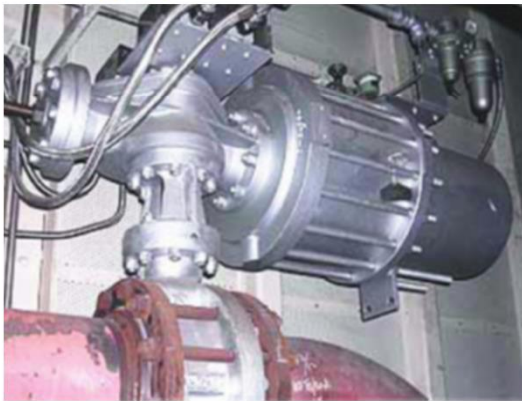
燃料ガス制御弁



燃料ガス遮断弁



燃料ガス温度制御弁



コンプレッサ抽気弁



20連ボール弁



パージエアON/OFF弁



潤滑油圧力制御弁

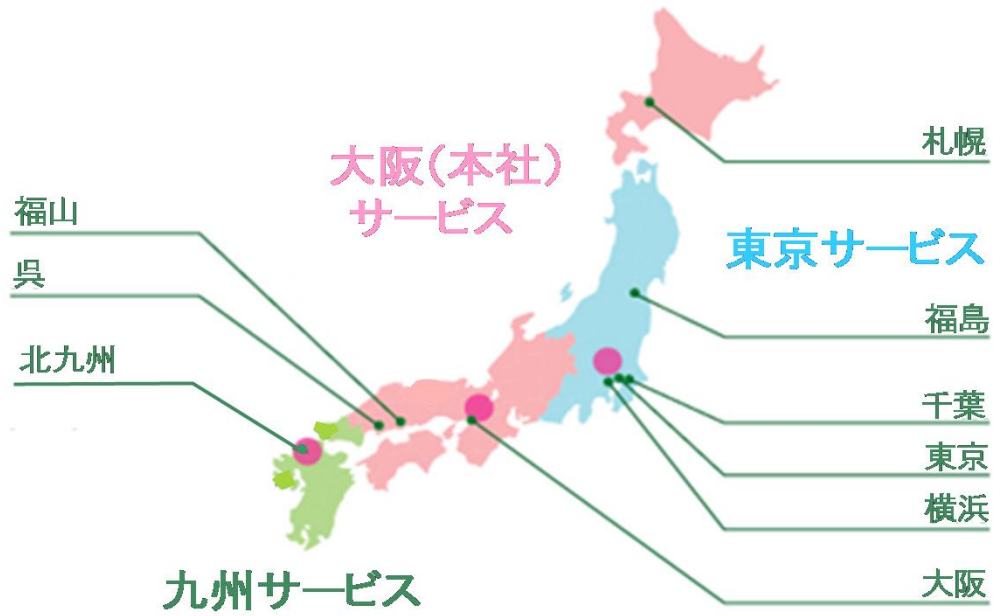


潤滑油温度制御弁

# サービス網



## 国内サービス網



## 本社



## 海外サービス網







## 4.中北製作所の特徴と強み～まとめ～

- 1.高品質・多種多様なバルブを最新の生産技術と管理技術を駆使して生産
- 2.顧客のニーズに対応した完全受注生産
- 3.船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまでを一括生産
- 4.技術サポート、メンテナンスなど製品ライフサイクルの全てに対応
- 5.国内のほとんど全ての発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
- 6.省エネ環境船や次世代高効率発電システム等、急進する技術革新に対処し、顧客ニーズに即した製品開発
- 7.高度な品質管理体制に基づき、全製品の全数製品検査の実施並びに超低温・高温環境での実証試験環境の整備



## Ⅱ. 平成28年5月期 実績



# 1. 概要

単位:百万円、%、円

	15/5	16/5	前年同期比		16/5 H27.12 修正計画	同修正計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	16,768	19,536	2,768	16.5	19,000	536	2.8
営業利益	780	1,121	341	43.7	1,150	▲28	▲2.5
経常利益	963	1,274	311	32.3	1,340	▲65	▲4.9
当期純利益	595	846	251	42.2	900	▲53	▲5.9
一株当たり当期純利益	31.49	45.17			47.81		
一株当たり配当金	20.00	20.00			20.00		
総資産	25,346	26,646					
純資産	19,516	19,574					

■売上高は、平成27年12月修正計画を若干上回ったが、利益面に関しては、収益が想定よりも厳しく、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ同計画を下回った。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位:百万円、%

	15/5	16/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	9,061	9,176	114	1.3
バタフライ弁	3,746	5,332	1,585	42.3
遠隔操作装置	3,840	4,954	1,114	29.0
生産高合計	16,648	19,463	2,814	16.9

受注高

	15/5	16/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,729	9,934	1,205	13.8
バタフライ弁	4,993	8,173	3,180	63.7
遠隔操作装置	5,004	5,849	844	16.9
受注高合計	18,727	23,957	5,230	27.9

受注残

	15/5	16/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,128	4,852	723	17.5
バタフライ弁	3,794	6,615	2,821	74.4
遠隔操作装置	3,926	4,802	876	22.3
受注残合計	11,849	16,269	4,420	37.3

### ■生産高(前年同期比16.9%の増)

生産高は、バタフライ弁が前年同期比42.3%、遠隔操作装置が同29.0%と大幅に増加し、全体では同16.9%の増加となった。

### ■受注高(同27.9%の増)

船用関連が順調に推移し、バタフライ弁が前年同期比63.7%、遠隔操作装置が同16.9%、自動調節弁が同13.8%と増加し、全体では同27.9%の増加となった。

### ■受注残(同37.3%の増)

主に船用関連の受注増加を背景に、受注残高は前年同期比37.3%の増加となった。



### 3.部門別売上高

単位:百万円、%

	15/5	16/5	16/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	9,126	9,211	84	0.9	47.1
バタフライ弁	3,773	5,352	1,579	41.8	27.4
遠隔操作装置	3,868	4,973	1,105	28.6	25.5
合計	16,768	19,536	2,768	16.5	100.0

単位:百万円、%

	15/5	構成比	16/5	16/5		
				増減	同率	構成比
陸用	5,542	33.1	4,893	▲649	▲11.7	25.0
船用	11,225	66.9	14,643	3,417	30.4	75.0
合計	16,768	100.0	19,536	2,768	16.5	100.0

- 船用関連で短納期品の受注の取込みもあり、バタフライ弁が前年同期比41.8%、遠隔操作装置が同28.6%とそれぞれ大幅に増加し、全体では同16.5%の増加となった。
- 陸用は前期に比べ、649百万円減少(前年同期比11.7%減)したが、船用は、3,417百万円と大幅に増加(同30.4%増)し、船用が陸用の落込みをカバーし、全体では2,768百万円増加(同16.5%増)となった。



## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	15/5	16/5	16/5		
			増減	同率	構成比
国内	13,849	15,252	1,402	10.1	78.1
韓国	705	1,420	715	101.4	7.3
中国(香港)	1,810	2,077	267	14.8	10.6
その他	403	786	383	95.0	4.0
合計	16,768	19,536	2,768	16.5	100.0
輸出比率	17.4	21.9	4.5		

■主に船用関連が好調で、韓国向けは、前年同期比101.4%と大幅に増加した。中国向け、国内向けも船用関連は好調であったものの、陸用の落込みが影響し、国内向けは同10.1%、中国向けは、同14.8%の増加となった。

■輸出比率は21.9%で同4.5%の増加となった。



## 5. 損益計算書

単位:百万円、%

	15/5		16/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	16,768	100.0	19,536	2,768	16.5	100.0
売上原価	14,315	85.4	16,556	2,240	15.7	84.7
売上総利益	2,452	14.6	2,980	527	21.5	15.3
販売費・一般管理費	1,672	10.0	1,859	186	11.2	9.5
営業利益	780	4.7	1,121	341	43.7	5.7
営業外損益	183	1.1	153	▲29	▲16.2	0.8
経常利益	963	5.7	1,274	311	32.3	6.5
特別損益	0	-	30	30	-	0.2
税引前当期純利益	963	5.7	1,304	341	35.5	6.7
法人税等	368	2.2	458	90	24.5	2.4
当期純利益	595	3.6	846	251	42.2	4.3

- 売上高は対前年同期比16.5%の増加。
- 利益面では、船用関連の売上増加に伴い、営業利益は対前年同期比43.7%、経常利益は同32.3%、当期純利益は同42.2%の大幅な増加となった。



単位:百万円

# 6. 貸借対照表

	15/5	16/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	19,348	20,866	1,518	
現金・預金	5,683	5,810	126	
売上債権	7,472	8,132	660	
棚卸資産	3,754	4,172	418	
その他	2,437	2,750	313	短期運用 214
固定資産合計	5,998	5,780	▲217	
有形固定資産	3,229	3,184	▲44	減価償却 286 投資 242
無形固定資産	20	16	▲4	
投資その他の資産	2,748	2,578	▲169	長期運用 88
資産合計	25,346	26,646	1,300	
流動負債合計	3,598	4,949	1,351	
支払手形・買掛金	2,919	3,819	899	
その他	678	1,129	451	前期 法人税等還付 今期 法人税等 334
固定負債合計	2,231	2,122	▲108	
負債合計	5,829	7,072	1,242	
純資産合計	19,516	19,574	57	
負債・純資産合計	25,346	26,646	1,300	





## Ⅲ. 平成29年5月期見通し



# 1. 概要

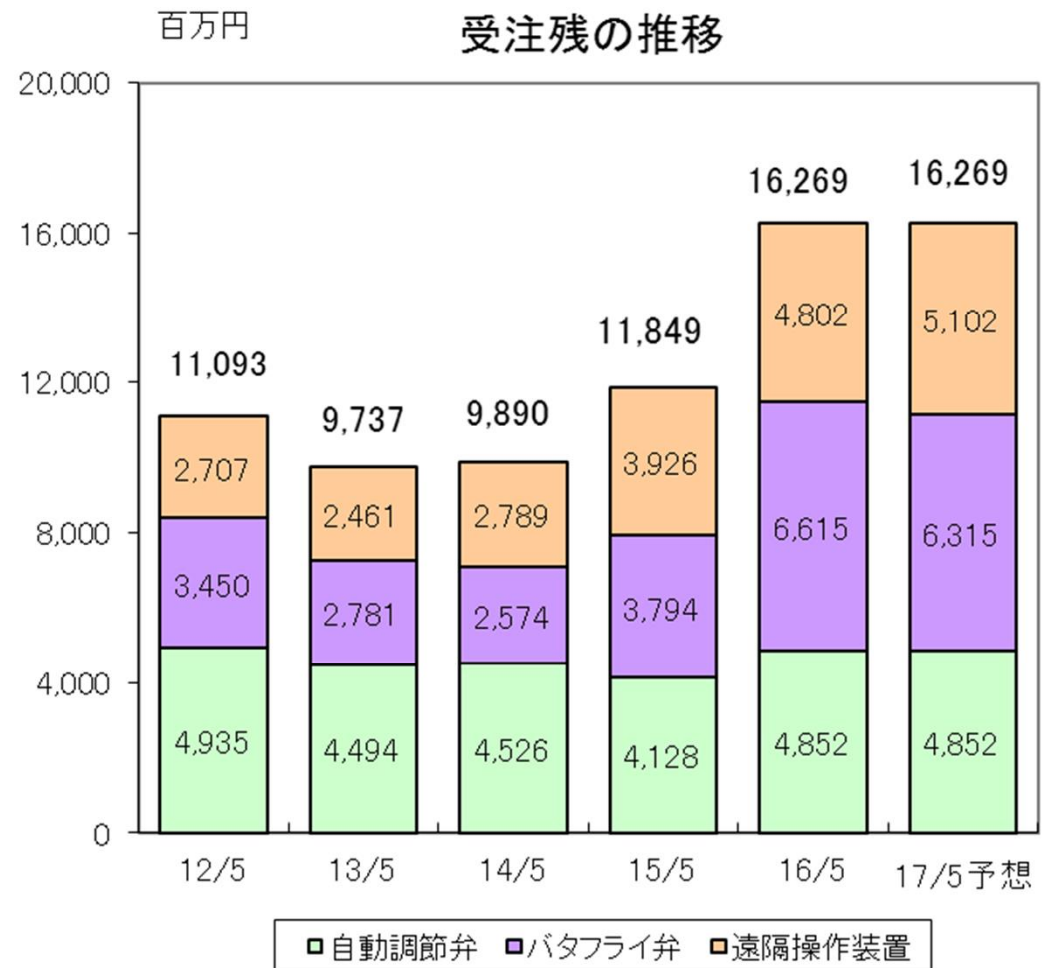
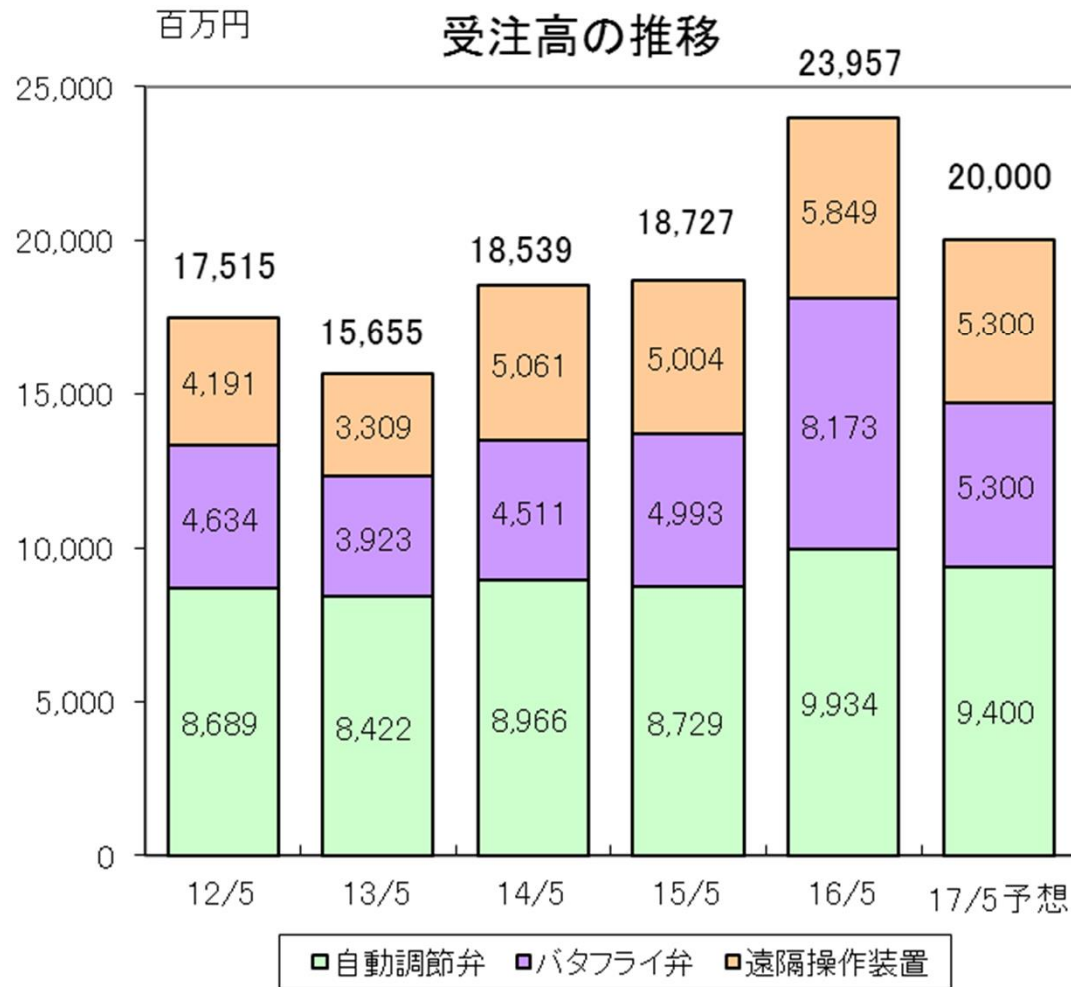
見込み

単位:百万円、%、円

	16/5	17/5	前年同期比	
			増減	同率
			売上高	19,536
営業利益	1,121	1,000	▲121	▲10.8
経常利益	1,274	1,120	▲154	▲12.1
当期純利益	846	770	▲76	▲9.0
一株当たり利益	45.17	41.76		
一株当たり配当金	20.00	20.00		

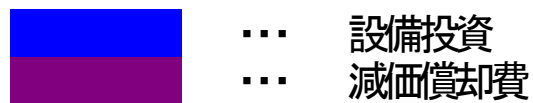
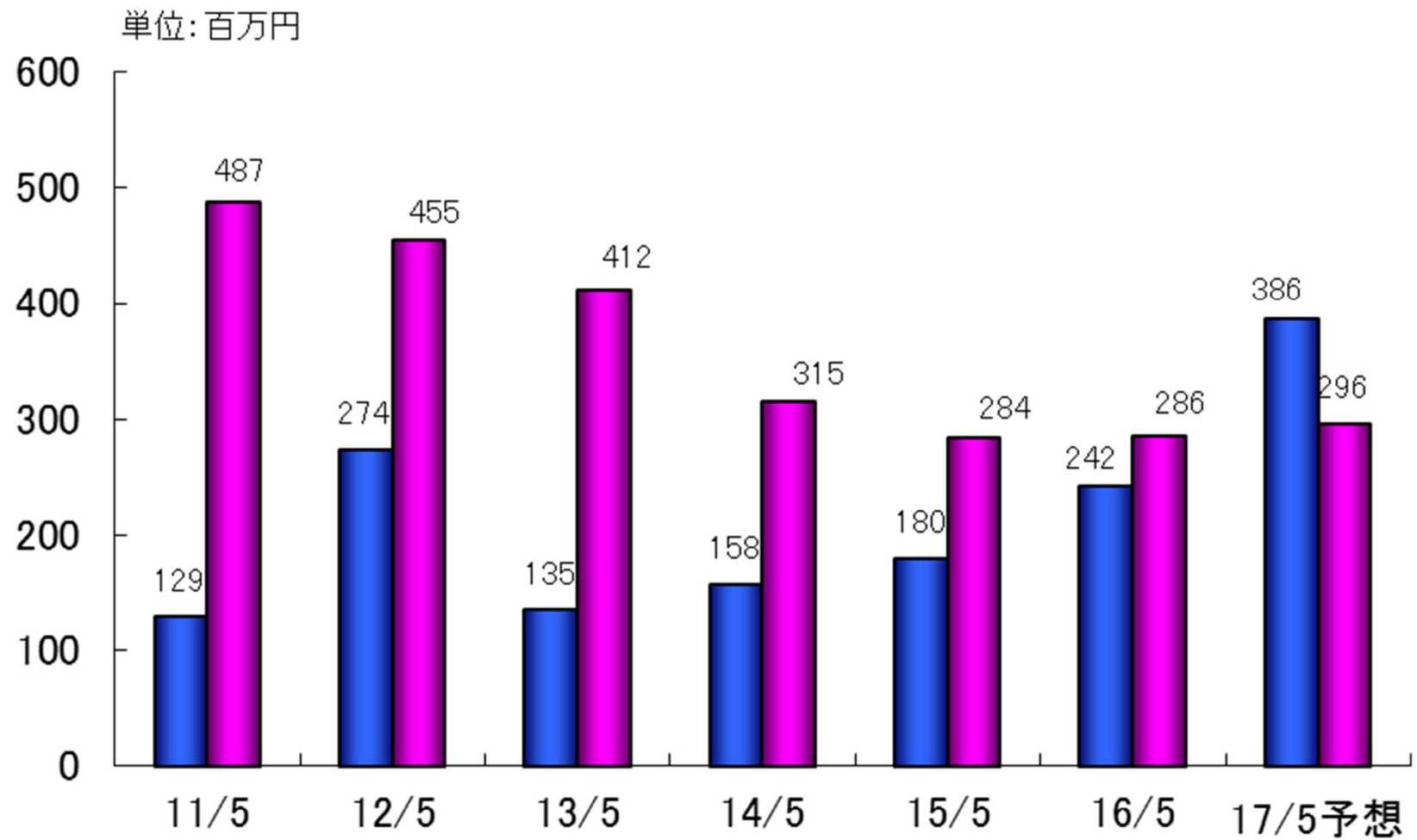
- 売上高は、前期並みを維持する計画。
- 利益については、船用関連の受注採算の悪化を想定。

## 2. 受注・受注残の見通し



■造船業界は、新興諸国の経済成長の減速、船腹過剰状態の継続の影響を受け、船用関連の受注環境は厳しくなることが、想定されるが、より一層の営業活動に注力し、受注高200億を目指す。

### 3. 設備投資と減価償却費の見通し





## IV. 今後の展望

# 1. トピックス

## ①機械加工における**生産性向上**と**柔軟性の確保**の両立・進化をめざして(1/2)

・様々な顧客要求に応えるために柔軟な機械加工の体制を作っている。その中で以下の設備の導入を行った。

バリアクシス i-800T **生産目標 従来比 2.2倍**

- ・**立型旋削機能**のある同時5軸高精度多面加工のマシニングセンタ
- ・**段取りステーション**を採用し、加工と段取り替えの並行作業の実施



(現状 3人3機械)

バリアクシス i-800T (1人1機械)

- ・3機械による複数工程を1機械で行い、**工程集約による作業の効率化**を図る。
- ・少ないチャッキングで多面加工を行う**複合加工**により、**加工効率の向上**。
- ・立型旋削・横型旋削**それぞれのメリットを生かした機械加工の体制づくり**を目指す。

# ①機械加工における生産性向上と柔軟性の確保の両立・進化をめざして(2/2)

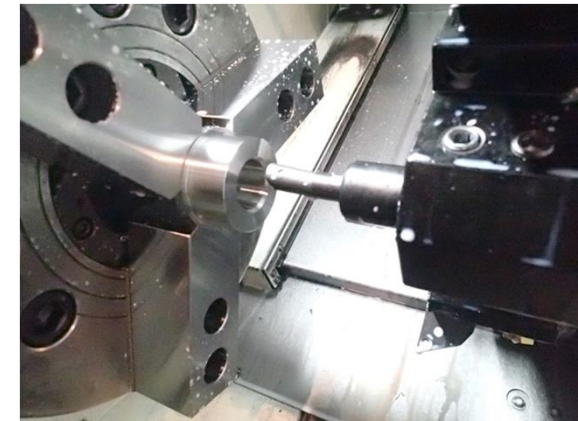
## NVX7000 生産目標 従来比 1.95倍

- ・センタースルー(刃先から切削油が出る)機能のある高速回転、重切削の立型マシニングセンタ
- ・穴あけ加工の生産性は従来比10倍



## QTS-250 生産目標 従来比 1.21倍

- ・ネジ切り開始位置自動補正機能のある高速回転のターニングセンタ
- ・汎用旋盤の加工品の取込みを目指す



## ②新製品開発 NS904振動式粘度計

### (製品用途)

- ・船用燃料油粘度の計測機器

### (技術の特徴)

- ・液体の粘度変化を圧電素子のねじれ振動によって検出し、演算回路で粘度値に算出

### (製品の特徴)

- ・省スペース
- ・メンテナンスフリー
- ・低粘度測定対応

客先ニーズに応じて拡販予定







## 2. 中長期的な経営戦略～

### 【当社の企業価値】

1. 熟練した技術を有する人的資産及び高度な品質管理体制に裏打ちされた高度な技術力・品質管理能力
2. 長年にわたる顧客との強固な関係
3. 創業以来、脈々と生き続ける「フロンティア・スピリット」(進取発展)

### 企業価値確保・向上への取組み

#### 生産性向上活動

- ・継続的な製造強化のために生産性向上に関する改善への取組みを行い、変化への機敏な対応ができる体制づくり

#### 原価低減活動

- ・品種ごとのコスト分析、設計や工法見直し等によるコストダウンへの取組み
- ・不適合・ムダの排除による原価低減

#### 開発提案型の営業活動

- ・常にお客様とコミュニケーションを取りながら、他社より一歩先んじた提案のできる顧客ニーズに基づく開発提案型の企業を目指す

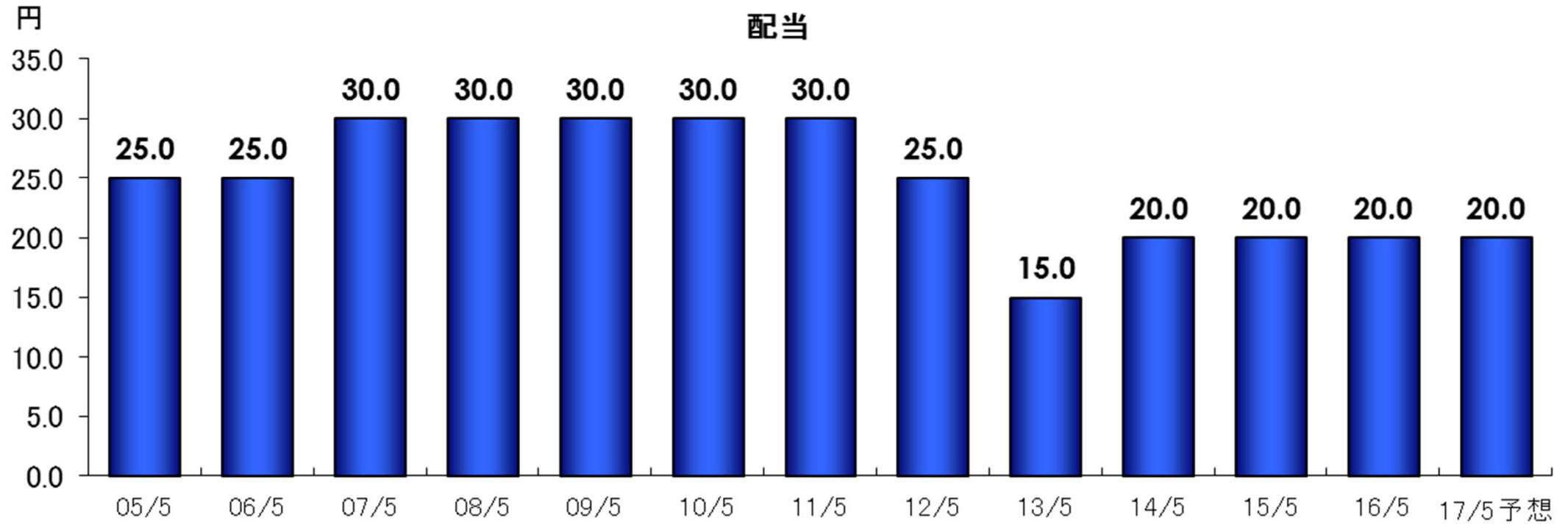
#### 人材育成

- ・技能レベルアップと技能伝承

信頼されるものづくり企業としての勝残り

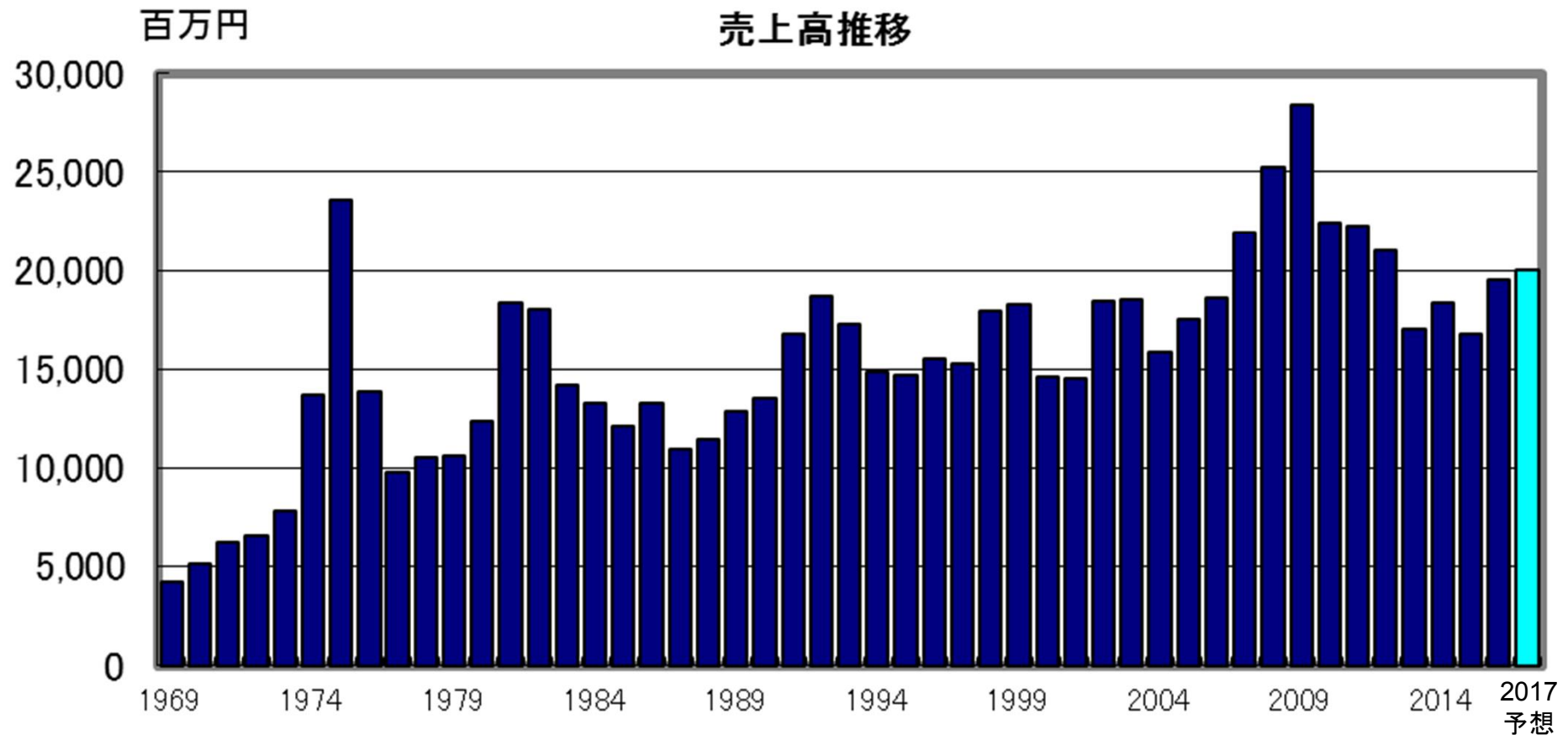


### 3.配当実績・予想



# 4. まとめ

■新興諸国の経済成長の減速がみられるなか、船腹過剰状態が続き、当社の主要な受注先であります造船業界におきましてもその影響は大きく、価格競争も厳しい状況にあります。このような環境のなか、一層の営業努力と更なる生産性向上活動により、計画の達成を目指してまいります。





## V. コーポレート・データ



単位：百万円、%、円

	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
売上高	20,973	17,012	18,387	16,768	19,536	20,000
営業利益	1,753	588	1,349	780	1,121	1,000
営業利益率	8.4	3.5	7.3	4.7	5.7	5.0
経常利益	1,902	771	1,528	963	1,274	1,120
経常利益率	9.1	4.5	8.3	5.7	6.5	5.6
当期利益	1,042	468	917	595	846	770
当期利益率	5.0	2.8	5.0	3.6	4.3	3.9
総資産	24,791	23,828	25,298	25,346	26,646	
株主資本	18,420	18,456	18,976	19,024	19,241	
株主資本比率	74.3	77.5	75.0	75.1	72.2	
株主資本利益率	5.7	2.5	4.8	3.1	4.4	
1株当たり利益	54.5	24.4	48.3	31.5	45.2	41.8
1株当たり配当金	25.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0



単位:百万円

陸船別売上	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
陸用売上	5,492	5,992	5,905	5,542	4,893	5,000
船用売上	15,480	11,019	12,481	11,225	14,643	15,000
合計	20,973	17,012	18,387	16,768	19,536	20,000

品種別売上	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	7,697	8,863	8,935	9,126	9,211	9,400
バタフライ弁	7,214	4,593	4,718	3,773	5,352	5,600
遠隔操作装置	6,061	3,555	4,733	3,868	4,973	5,000
合計	20,973	17,012	18,387	16,768	19,536	20,000

生産	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	7,738	8,700	8,792	9,061	9,176	9,400
バタフライ弁	7,241	4,514	4,642	3,746	5,332	5,600
遠隔操作装置	6,086	3,487	4,657	3,840	4,954	5,000
合計	21,066	16,702	18,092	16,648	19,463	20,000

受注	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	8,689	8,422	8,966	8,729	9,934	9,400
バタフライ弁	4,634	3,923	4,511	4,993	8,173	5,300
遠隔操作装置	4,191	3,309	5,061	5,004	5,849	5,300
合計	17,515	15,655	18,539	18,727	23,957	20,000

受注残	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5	17/5予想
自動調節弁	4,935	4,494	4,526	4,128	4,852	4,852
バタフライ弁	3,450	2,781	2,574	3,794	6,615	6,315
遠隔操作装置	2,707	2,461	2,789	3,926	4,802	5,102
合計	11,093	9,737	9,890	11,849	16,269	16,269



・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。